

# 神経難病病棟の看護の実際



痰が出しにくい患者さんには、医師の指示のもと、「カフアシスト」という機械を使ったり、胸を手で押さえるスクウィーピングというケアを行って、痰が上手に出せるお手伝いをしています

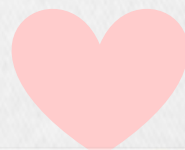


全身の筋力が低下した方に対して、日常の生活動作が拡大できるよう、立位訓練を行っています





話しにくさがある患者さんには  
文字盤などを使って  
コミュニケーションを  
図っています



人工呼吸器をつけていても、自分の気持ちを言葉にできる  
意思伝達装置，視線入力装置などを使用することで、  
コミュニケーションを図ることができます







ミストシャワーで  
全身浴できます

寝たきりの患者さんもお風呂に入るお手伝いを週に2回行っています



全身の状態が悪く入浴ができない患者さんや、  
循環が悪く手先が冷たい患者さんには、  
清潔の保持・循環の改善の手助けになるよう、  
足浴や手浴を行っています